



# 学校だより

和歌山市立四箇郷小学校

10月号 令和2年9月29日

文責 / 校長: 石神 和弘

## ランドセル登校再開!

熱中症の危険指数が最高レベルだった先月からはすっかり涼しくなりました。朝は薄い上着を羽織って登校する児童もちらほら見られます。「暑さ寒さも彼岸まで」とは言いますが、ようやく過ごしやすくなってきました。熱中症対策として一時的にリュックサックでの登校を許可していましたが、10月からは一斉にランドセルに戻したいと思います。無事この夏を乗り切れたことみなさまに感謝いたします。また、引き続き、毎朝の健康観察もよろしくお願いいたします。

## 地域先達

地域先達とは、和歌山市の「地域先達との協働・連携による学校教育力の充実事業」としての取組で、地域の持つ教育力を地域の宝でもある子供たちへの教育に生かそうとする事業です。今、6年生の家庭科では修学旅行に持って行くナップサックを製作しています。子供たちは久しぶりのミシンの操作で、教師一人だと対応に追われなかなか効率が上がりません。そこで、四箇郷地区民生・児童委員の方々に子供たちへのサポートをお願いすることになりました。今回は6日間の予定で、多くの方々のご協力を得ることができました。おかげさまで作業が大変スムーズに進み完成間近となっています。それぞれの見学場所で子供たちが手作りのナップサックを背負い活動している姿が目に見えます。今後もこのような取組ができるようアイデアを集めていきたいと思っております。ありがとうございました。

## 読書の秋～うちどくのすすめ～

本校では以前から図書ボランティアの方々から図書室の本の整理整頓などをしていただいております。土曜日(隔週)の午前中には「子どもセンター」の活動で、大休憩には「絵本の会」の方々に読み聞かせを行っていただいております。市民図書館からは団体貸し出しの制度を利用し、たくさん本を学級文庫として置かせていただいております。また、先日は四箇郷地区公民館活動の方々からたくさん蔵書をいただきました。このように本校は読書活動が大変さかんな学校と言えます。

和歌山市では独自に開発した「紀州っ子学びノート」という教材があり、その後半に「うちどくのすすめ」というコーナーがあります。「うちどく」とは、ご家庭でお子様と一緒に読書をし、感想を話し合ったり、記録していったりする活動です。詳しくは本日お配りしています「うちどく(おうちで読書)のすすめ」のプリントをご覧ください。小さいころからの読書記録をつけていくというのも、お子様が自分自身の成長を振り返るいい機会となることと思います。

読書は人の心を豊かにしてくれます。それだけでなく、文章を読む力・書く力が向上することはもちろん、自分の考えのもとになったり、判断する根拠となったりすることもあります。お子様に読書の習慣を身につける良き機会ととらえていただければと思います。

## 10月の予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- 1日(木) あいさつ・一声運動 絵本の会
- 2日(金) 育生会役員会 19:00 SC
- 6日(火) 移動図書 尿糖検査(5年生)
- 7日(水) 研究授業5年2組(下校13:10 ※5年2組は14:15)
- 8日(木) 就学時健康診断(下校13:00)
- 9日(金) SC
- 10日(土) 子どもセンター(10:00 絵本の会 ランチルーム)
- 12日(月) 教育実習(～23日まで 2年1組 6年3組)
- 13日(火) 運動会全体練習 眼科検診(4～6年生)
- 14日(水) 研究授業2年3組(下校13:10 ※2年3組は14:15)
- 15日(木) 5年生加太合宿(～16日)
- 19日(月) 眼科検診(1～3年生)
- 20日(火) 移動図書
- 21日(水) 研究授業1年2組(下校13:10 ※1年2組は14:15)  
モアレ検査(5年生)
- 24日(土) 子どもセンター(10:00 語りの森 ランチルーム)
- 27日(火) 秋の遠足(1～4年生) 5, 6年生は通常授業(※お弁当) ALT SC
- 28日(水) 研究授業3年1組(下校13:10 ※3年1組は14:15) ALT
- 29日(木) 歯科検診(3年、4の1、4の2)
- 30日(金) SC

- ※ 11月6日(金) 秋季運動会(※給食あります。午後は通常の授業です。)
- ※ 11月25、26日 6年生修学旅行(紀南方面)
- ※ カウンセリングは事前に予約していただく必要があります。子育てについてのお悩みなど、どうぞお気軽にお声をかけてください。(471-2200 担当:教頭) 10月は田邊先生が9日と27日で、渡辺先生が2日と30日です。

## 上級生へのあこがれ

休み時間の運動場では子供たちの活気に満ちています。ドッジボールで汗を流す子、遊具で体力の向上をはかっている子、また、中庭では大縄跳びを楽しんでいる子など、ようやく外で遊べるようになったことを全力で楽しんでいます。私が感心するのは3分前行動が徹底されていることです。休憩終了の5分前になると誰からともなく児童玄関を目指して駆け出していきます。いつまでも遊び続ける子はいません。

ある日、休憩が終わろうとしていた時、一人の男の子がまた運動場へ戻ってきました。眼鏡を落としたようです。それがないと次の授業に支障が出ます。私も一緒に探したのですが見つかりませんでした。その男の子は仕方なく教室に戻りました。

職員室の前にはおとしものを展示する場所があります。そこを見てもみると黒い小さな眼鏡がありました。誰かが拾って置いてくれたようです。早速その眼鏡を持って男の子の教室を訪ねました。

「あったよ。これかな。」

「うん。そう。」

「わぁ、優しいなぁ。」

「きっと6年生やで。落とし物のところへ置いてくれたんや。」

下級生から6年生への信頼の大きさを感じました。